

# 鶴群

令和3年9月吉日発行

釧路市タンチョウ鶴愛護会

〒085-0245

釧路市阿寒町上阿寒 23 線 38 番地

釧路湿原美術館内

Tel 0154-66-1117 Fax 0154-66-1121

(題字：加藤 秋霜氏) < 皇太子殿下御歌碑より抜粋 >



家の裏に飛んできたタンチョウ (吉田会長撮影)

## 釧路市タンチョウ鶴愛護会 会長 吉田 守人



全国の会員皆様におかれましては、ご健勝のことと拝察申し上げます。

皆様には、会費のみならず多くのご寄付も賜っておりますことに厚く御礼申し上げます。

令和3年度の総会もコロナ感染拡大の終息の目途がつかないため、書面による総会とさせていただきます、新年度がスタートいたしました。コロナ禍にあって、活動内容も制限され活動が鈍る状況にありますがお許しいただきたいと存じます。終息の目途が立った時にはおもいっきした活動にチャレンジしたいと考えております。

当会ホームページで配信しておりますライブカメラは観察センターの窓ガラスの凍結が緩和されませんので、本年度のライブ配信までに、外で写せるカメラに更新する予定ですのでご期待いただきたいと思います。

また、観察センターからジオトープを映しているカメラについては電波の関係か画像が鮮明でないときもあって、ご覧になっている皆様にはご迷惑をおかけいたしました。現在業者の方に原因を追究していただいておりますので原因が判明いたしましたら、対策を講じてより良い画像を配信いたしますのでご了承お願いいたします。

タンチョウは、釧路湿原が飽和状態にあるため、子育てを、我々のすぐ近くで行うつがいが増えていることから国道など身近にみることが出来ます。

先日も我が家の裏の妻の野菜畑の近くに現れ夢中になってカメラに収めました。タンチョウ写真の初心者ですが一部を掲載させていただきます。会員の皆様の身近で写した写真がありましたらご投稿いただけますとホームページで配信できますのでご協力いただけると幸いです。

本年も皆様のご支援をお願い申し上げご挨拶といたします。

# 2021 年度釧路市タンチョウ鶴愛護会総会

## 書面議決の結果について

日頃から、釧路市タンチョウ鶴愛護会活動にご理解、ご協力いただき、誠にありがとうございます。

さて、本年度も総会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から書面での議決とし、2021年5月12日必着で書面表決書をご提出いただきました。

その結果について下記のとおりご報告いたします。

### 記

#### 2021 年度釧路市タンチョウ鶴愛護会 総会議決結果

書面表決提出者～92

総会員数～105

#### 【議案】

第1号議案	<2020年度 事業経過報告>	賛成 92、反対 0、
第2号議案	<2020年度 収支決算報告>	賛成 92、反対 0、
第3号議案	<2021年度 事業計画案>	賛成 92、反対 0、
第4号議案	<2021～2022年度役員改選案>	賛成 92、反対 0、
第5号議案	<2021年度 書面表決書について>	賛成 92、反対 0、

#### 【結果】

全ての議案について、過半数の賛成をもって可決されました。

上記については、事実とそういないことを確認します。

2021年5月17日

議 長

吉田 守人

議事録署名人

大山 昇

議事録署名人

高野 英弥



# 〈鶴だより〉

※今まで動物園の松本文雄さんに執筆依頼しておりましたが、退職されましたので、吉野智生さんに鶴だよりをお願いしました。

## 釧路の夏、タンチョウの夏

釧路市動物園 ツル担当主査  
吉野 智生



タンチョウの繁殖シーズンも終わりに近づき、今年生まれのヒナもだいぶ大きくなりました。毎年6月中旬から7月中ごろにかけて、野生のタンチョウに金属製の足環をつける、バンディングという調査が行われています。道路近くの畑や、冬の給餌場などで、足環がついたタンチョウを見かけたことがあるかもしれません。この調査は、見た目では区別がつかないタンチョウを、どこで生まれた誰なのか個体識別するために行っています。これによって、生まれた後どこに行つて、何年生きたか、繁殖したか、オスかメスか、などなど、様々なことがわかってきます。

この調査は環境省から許可を得て、市民団体が行っています。今までに延べ30年以上にわたり、500個体以上に足環がつけられていて、今でも生きて確認されているのは、およそ200羽です。この調査は、生後2か月くらいのヒナを狙って捕獲するため、主にタンチョウの営巣地の近くで行われます。

具体的には、河川敷や干潟、牧草地や時に酪農家さんの牧場内などで、許可をもらって行います。暑いさなかに胴付き長靴を履いてタンチョウを待ち受け、追いかけて捕まえるという、なかなか過酷な調査です。無事捕まえたら、体の大きさや体重を測り、足環を付けて親元に速やかに返します。

この調査は付けて終わりではなく、その後どうなったのか、何番がいつどこでどういう状態で確認されたかをきちんと記録することが大切です。冬の給餌場にはタンチョウが集まってくるので確認しやすいのですが、夏のツルセンターにも時々足環付きがやってきます。

先日は去年阿寒町で生まれた379番が兄弟で来ていて、おそらく親と思われる家族に追い払われ、ケージ内のタンチョウにも警戒されていました。このことから、1歳頃にはまだ兄弟が別れていないことや、自分の生まれた営巣地の近くにまだ残っていることがわかります。



足輪のついたタンチョウ

こういう情報を沢山集めることで、タンチョウの生活が詳しくわかってきます。どこで生まれ、どうやって生きてきたのか。給餌場に現れるタンチョウにも、個体ごとにそれぞれの鶴生があるのです。もし足環を付けているタンチョウを見かけて、番号が読めたら、ご一報いただければ幸いです。



# 阿寒国際ツルセンター ルビーちゃん 成長順調

昨年6月に親とはぐれたところを保護され、ツルセンターで人工飼育することになったタンチョウのヒナ。当初は「ピーちゃん」と呼ばれていましたが、保護した山花小中学校の子どもたちが「ルビーのようにきれいですてきなツルになってほしい」という願いを込めて「ルビーちゃん」と名付けてくれました。

タンチョウは生後約100日



で飛ぶことができるようになり  
ます。飛べるようになった8月  
20日ごろから計算して、誕生日  
は5月10日ごろと推測。年齢は  
そろそろ1歳というところで  
す。

そんなルビーちゃんは、最近  
タンチョウの特徴である頭頂部  
の赤い部分が、随分目立つよう  
になってきたのです。写真Ⅱ。

頭の羽毛が徐々に抜け落ち、  
赤い皮膚が見え始めました。成  
鳥は粒状の真っ赤な皮膚です

が、ルビーちゃんの頭はまだ薄  
く羽毛が生えていて、粒も小さ  
く薄い赤色。これからどのよう  
に変化していくのか楽しみで  
す。「ピイピイ」とかわいかつ

た鳴き声も、最近は成鳥ときほ  
ど変わらない声で、他の飼育個  
体の鳴き声につられて一緒に鳴  
いています。

飼育下ならではの成長の観  
察。こんな機会はめったにあり  
ません。ぜひルビーちゃんに会  
いに来てください。センター裏  
手に広がるビオトープにも夏鳥  
が続々と渡来し、にぎやかなさ  
えずりのオーケストラが毎日繰  
り広げられていますよ。

(河瀬幸)

# タンチョウ今年も誕生

長沼・舞鶴遊水地

【長沼】札幌開建や環境

省は30日、空知管内長沼町  
の舞鶴遊水地で、国の特別  
天然記念物タンチョウのヒ  
ナ1羽が生まれたと発表し  
た。遊水地では昨年5月、  
札幌圏としては100年以  
上ぶりにタンチョウの繁殖  
が確認され、2年連続とな  
る。親鳥は昨年生まれたヒ  
ナ1羽を育てたつがいとみ  
られる。

長沼町などによると、つ  
がいは今年の雪解け後、遊  
水地に戻り、前年の巣跡近  
くで営巣を始めた。5月7  
〜10日ごろ1羽がふ化し、  
親の周囲を元気に駆け回っ  
ている。

札幌開建と町などは20  
16年、「タンチョウも住  
めるまちづくり検討協議  
会」を設立し、遊水地の環  
境保全などに努めてきた。  
水草が繁茂しているため遠  
くからは見えず、現地は立  
ち入りを制限している。

町などによると、昨年生  
まれたヒナは遊水地を巣立  
ち、近隣に飛来しているの  
が目撃されている。調査に  
当たっている専修道短大の  
正富宏之名誉教授(鳥類生  
態学)は「つがいは舞鶴遊  
水地に定着した。さらに多  
くのタンチョウが道央圏に  
広がるのではとみている。

(土屋孝浩)



タンチョウの親鳥の近くを歩くヒナ=5月13日(タン  
チョウも住めるまちづくり検討協議会提供)



# ツル守ろう 中学生交流

阿寒中と鹿児島・出水市の2校

釧路市立阿寒中(年代香校長)の生徒でつくる鶴特別委員会は24日、市の友好都市、鹿児島県出水市の義務教育学校と中学校とオンラインで交流した。いずれもツルの保護や観察を続けており、生徒が互いの取り組みを報告した。(相川康暁)



鹿児島県出水市の中学生とオンラインで交流する阿寒中の生徒たち

## オンラインで活動報告

交流は2005年から続き、今て知られる出水市の鶴荘学園は毎年は新型コロナウイルスの感染拡大を受けてオンライン開催になり、昨年は1万7315羽を確認した。鶴特別委員会は6人、出水市調査方法もクイズを交えて紹介し立鶴荘学園ツルクラブは5人、同。高尾野中は出水市が鶏肉や鶏高尾野中ツルクラブは4人が参加。自己紹介の後、活動を発表し、卵の生産が盛んなことや日本一大きな「地蔵」と「鈴」があるとPRした。

阿寒中は、冬はグラウンドでタンチョウの給餌や夏は餌のデントコーン栽培を続けていると報告。月から行っていたといい、「鹿児島やマナツルの飛来地として良かった」と話していた。

阿寒中3年で鶴特別委員長の久保田玲さん(14)は発表の準備を5月から行っていたといい、「鹿児島やマナツルの飛来地として良かった」と話していた。

# 道内4動物園でタンチョウ企画展

「共生考えるきっかけに」



「タンチョウとの共生を考えるきっかけにしてほしい」と語る飯間獣医師と義足のタンチョウ「モモ」

道内の4動物園を巡回する「タンチョウ・レスキュー展(パネル展)」が1日から旭山動物園で始まり、11月12日、12月26日には釧路市動物園で実施する。各会場では同企画展の発案者で、釧路市動物園で負傷したタンチョウの治療に従事している獣医師の飯間裕子さんが「タンチョウ・レスキューの現場から」をテーマに講演する。飯間さんは「事故で命を落とすタンチョウが増えている現状を多くの人に知ってもらい、それをどう防ぐのか共に考えるきっかけにしてほしい」と話している。

同展は旭山(31日まで)、釧路のほか、8月8日、10月31日におびひろ動物園、2022年1月8日、2月13日に円山動物園で行う。タンチョウの現状や事故防止の啓発、共生を考えてもらうことが目的で、主催は同実行委員会(会長・中村昌克釧路市動物園長。会場では「絶滅したタンチョウ」は「生息数と保護収容状況の推移」「保護されたタンチョウの治療」などの写真や説明が記されたA1判のパネル21枚を展示する。

1952年の調査で33羽と絶滅の危機に瀕したタンチョウは、2021年2月には道内で約1900羽まで生息数が回復。一方、事故に遭い保護されたり、死んだりするケースが増えている。特に近年は車の衝突が増えており、10〜18年では保護収容数が261羽のうち、車衝突が全体の20%を占め、原因別では1位だった。飯間さんは「カラスなどは車が近づくと逃げますが、タンチョウは逃げない。むしろ近寄っていくケースもある。こうしたことを知ってもらってでも事故を減らすことができる」と語る。また、タンチョウが農地に飛来し作物に被害が出るケースもあり「農業生産者だけの問題ではなく、皆さんの食卓、食べるものにつながる話。今後どう解決していくのか共に考えてほしい」と呼び掛ける。

釧路市動物園での飯間さんの講演は12月12日午後1時から、総合案内所で行う。動画なども活用し分かりやすく、タンチョウの現状などについて解説する。問い合わせは釧路市動物園0154(56)2121へ。(嶋守善一)

## 釧路の獣医師、飯間さん発案

タンチョウは、2021年2月には道内で約1900羽まで生息数が回復。一方、事故に遭い保護されたり、死んだりするケースが増えている。特に近年は車の衝突が増えており、10〜18年では保護収容数が261羽のうち、車衝突が全体の20%を占め、原因別では1位だった。飯間さんは「カラスなどは車が近づくと逃げますが、タンチョウは逃げない。むしろ近寄っていくケースもある。こうしたことを知ってもらってでも事故を減らすことができる」と語る。また、タンチョウが農地に飛来し作物に被害が出るケースもあり「農業生産者だけの問題ではなく、皆さんの食卓、食べるものにつながる話。今後どう解決していくのか共に考えてほしい」と呼び掛ける。



# 〈タンチョウ保護活動〉

## 釧路市立阿寒小学校

### 〜タンチョウと私たち〜



5月になり、暖かくなってくると、全校の農園作業が始まります。秋のニオ作りにむけてデントコーンの種を植えます。3年生は、タンチョウのための餌（デントコーン）が「大きく育ち、たくさん穫れること」を楽しみにして作業をしています。



毎年、夏の農園作業の雑草抜きや水やりを、子ども達は楽しみながら協力して行います。天候の影響もありますが、毎年たくさんのデントコーンを収穫しています。また、運動会では、「ほろろん会」の皆様が強力なサポートを受け練習を行い、地域の方々と一緒に「丹頂鶴音頭」を踊っていますが、今年はコロナ禍のため見合わせています。



待ちに待った収穫です。乾燥させて、手作業で実をほぐします。10～11月の雪が降る前にニオ作りをします。自分の身長くらいあるデントコーンの茎を協力して運び、三角に立てた柱の間にその茎を詰めていきます。



12月になるとニオを目掛けて、タンチョウ達が姿を見せ始めます。当番の子たちは、ニオの周りに餌のデントコーンを撒きに行きます。給餌活動は雪の溶ける春まで続けます。





2022年1月1日午後1時に  
阿寒丹頂の里で確認される  
タンチョウの数は何羽でしょうか？

応募方法: ハガキ又は FAX に答えと住所・氏名・年齢・職業・郵便番号・  
電話番号を明記し、下記へお送りください。  
釧路市タンチョウ鶴愛護会のホームページ (URL 下記)  
からもご応募できます。(1人1回のみ)

応募締切: 2021年12月20日(月) 当日消印有効

当選発表: 2022年1月上旬 阿寒国際ツルセンターと  
タンチョウ観察センター及び愛護会ホームページに掲示します。

- 賞品: 飛翔賞 (1名様) 釧路市の特産品等  
10,000円相当の品  
賛歌賞 (5名様) 同 5,000円相当の品  
乱舞賞 (15名様) 同 3,000円相当の品  
楽園賞 (30名様) 同 1,000円相当の品

2022年 第  
阿寒丹頂の里  
鶴クイズ

問題  
2022年1月1日午後1時  
阿寒丹頂の里には  
「何羽」タンチョウが  
いるでしょうか？

過去1年間の得票数	
2017年 得	213 票
2018年 得	182 票
2019年 得	117 票
2020年 得	41 票
2021年 得	72 票

賞品  
釧路の特産品を  
プレゼント!

飛翔賞 1名様 10,000円相当の品  
賛歌賞 5名様 5,000円相当の品  
乱舞賞 15名様 3,000円相当の品  
楽園賞 30名様 1,000円相当の品

●お問い合わせ●  
釧路市タンチョウ鶴愛護会  
(鶴クイズ事務局)  
電話 (0154) 66-1117 FAX (0154) 66-1121

第20回 タンチョウイラスト展作品募集

2021年12月26日(日) ~ 2021年2月24日(木) 阿寒国際ツルセンターホールにて展示

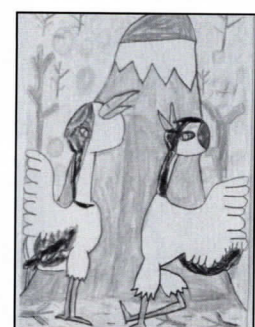


認定こども園よしの  
年長 小笠原 遙希さん

(※三点は昨年展示した作品です)



釧路市立大楽毛小学校  
5年 野村 煌輝さん



釧路市立阿寒小学校  
2年 柴木 悠心さん

募集期間: 2021年10月1日(金) ~ 12月10日(金)  
作品の大きさ: ハガキサイズ (10cm x 14.8cm)

ライブカメラがはじまります

今年も11月上旬より給餌ライブカメラ(ピオトープ側、農園側)  
の2か所で配信を予定しております。  
愛護会ホームページからご覧になることができます。



ピオトープ側



農園側

お問い合わせ・応募先  
〒085-0245 釧路市阿寒町上阿寒 23-38 釧路市タンチョウ鶴愛護会事務局  
TEL 0154-66-1117 ホームページ <http://946tanchou-aigokai.com/>